

議会 市政の報告

五條市長 吉野 晴夫



平成19年第3回定例会が9月3日に開会され、吉野市長が市政の報告を行いました。

6月から今日までの市政の概要についてご報告申し上げます。

決算状況

まず、平成18年度の決算状況についてご報告申し上げます。一般会計につきましては、実質収支2億4,358万5,000円の剰余金、また国民健康保険ほか7特別会計につきましても、おのれの剰余金をもちまして決算を終えることができました。

更に、水道事業会計につきましても、純利益を計上し、3月末日をもって決算を終えております。

行財政改革

次に、諸事業の取り組みについてご報告申し上げます。

はじめに、最重要課題であります「行財政改革」につきましては、厳しい財政状況を踏まえ、5月に策定した集中改革プランにより、明確かつ着実な目標設定に基づく抜本的な改革をスタートさせたところであります。本プランでは、職員の定数を平成18年度と比べて5年後の平成23年度までに65人削減し、更に事務事業の見直しなどにより5年間で約18億7,000万円の財政効果を見込んでおります。これにより「歳入に見合った歳出構造」へ転換し、子や孫に借金を残さない健全な財政運営の実現を目指しております。その詳細につきましては、広報五條7月号および市ホームページにより、市民の皆様にご表示したところであります。

新五條市総合計画

次に、「新五條市総合計画」につきましまして、2か年の継続事業により鋭意取り組みを進めているところであり、今年度におきましては、「総合計画策定審議会」を立ち上げ、去る6月27日に第1回の審議会を開催し、市の現状と課題、市民アンケートの調査結果および今後のスケジュール等について審議をいただきました。

ケーブルテレビ

整備事業

次に、西吉野・大塔地域を対象とした「ケーブルテレビ整備事業」につきましては、第3セクター「こまどりケーブル」と「地域情報通信基盤整備推進交付金」を活用すべく、7月中旬に国へ事業の希望書を提出したところであり、同時に、県・関係機関およびこまどりケーブル株式会社に対し事業要望を行い、事務調整を行っております。

京奈和自動車道

次に、「道路行政」の取り組みのうち、京奈和自動車道につきましまして、去る8月2日、橋本東インターから橋本インター間が暫定2車線で開通いたしました。これにより市内から高野口インター間が走行可能となり、和歌山方面への利便性が向上いたしました。今後引き続き、大和・御所道路の御所区間の早期開通に向けて国へ働きかけてまいります。

国道24号拡幅整備

次に、国道24号拡幅整備につきましまして、本陣交差点から市役所下交差点までの1工区は、地権者・居住者のご理解を得て、複数の契約締結に至っております。また、市役所下交差点から裁判所下までの2工区は、地権者・居住者等に説明会を開催し用地交渉を行っているところであります。これらの事業区間を早期に完成させることが、全線1,350メートルの事業化への弾みにもなることから、今後国と連携を密にして精力的に取り組んでまいります。

街なみ環境整備事業

次に、新町地区の「街なみ環境整備事業」につきましては、伝統的な歴史の町並みを継承するにふさわしい住環境を目指し、平成10年度から整備に着手して以来、今年度で10年目となり最終年度を迎えることになりました。今年度ではすでに7件の修景施設整備に着手し、更に防火水槽、小公園および市道新町線の道路維持修繕工事等の事業を進めているところであります。

また、去る5月27日、この新町通りをメイン会場に「自由市場」がけらる座が開催されました。今回で15回を数え、手作り製品の展示・販売、まちかどライヴ、各種イベントが行われ、380店舗の出店、約52,000人の来場者のもと、一日中にぎわいをみせておりました。このようなイベントを通じて、新町通りの町並みを知っていただく好機であると共に、活